

令和7年度 第2回海津市多文化共生推進協議会 概要報告書

1. 開催日時／場所

令和7年8月26日（火）10：00～11：56／海津市役所西館1階大会議室

2. 出席者

【委員】：松尾 憲暁、グエン アイン トウアン、ラマ ヒム クマリ、上平 博子、中村 弘子、伊藤 友美、小里 衣理、森 登志男、近藤 泰代、内藤 陽子、佐藤 勇夫、伊藤 義美、坂口 亨

【幹事】：総務企画部長、市民課長、生活・環境課長、文化・スポーツ課長（代理）、観光・シティプロモーション課長、学校教育課長

【事務局】：企画課長、企画課課長補佐、主任

3. 会議概要

(1) 事例紹介

- ①独立行政法人国際協力機構の取組みについて
内藤洋子委員から、資料1に基づき紹介していただいた
- ②市内の教育現場における外国籍児童・生徒への対応の現状について
坂口亨委員から、資料2に基づき紹介していただいた
- ③株式会社日輝製作所の取組みについて
小里衣理委員から、資料3に基づき紹介していただいた
- ④外国籍市民向け生活アンケート調査結果について
佐藤勇夫委員から、資料4に基づき紹介していただいた

(2) 協議事項

- ①アンケート調査概要について、資料5に基づき説明した
 - ②日本人市民向けアンケート調査票（案）について、資料5-1に基づき説明した
 - ③外国籍市民向けアンケート調査票（案）について、資料5-2に基づき説明した
- 委員から以下の意見をいただいた
- ・外国籍市民向けアンケートにおける翻訳言語について、ポルトガル語、英語を取り入れてはどうか。
 - ・質問方法について、答える対象について、丁寧に問うべき。
 - ・アンケートを実施していることを広く市民に周知すべき。また、抽出されなかった市民も回答できるようにしてはどうか。
 - ・外国籍市民向けアンケートでは、漢字にルビを振ってほしい。